

## 2) 経営学研究科博士課程のカリキュラム・ポリシー

### 1. 前文

神戸大学大学院経営学研究科は、経営学・会計学・商学の領域において深き学識と高度で卓越した専門的能力を身につけ、人間性、創造性、国際性において優れた研究者および専門的職業人を育成することを目指し、以下に示した方針に従ってカリキュラムを編成する。

学修成果の評価は、学修目標に即して多元的、包括的な方法で行う。

#### 2-1 学位：修士（経営学）CP

カリキュラムは、講義と演習から構成される。講義は、研究に必要な知識を与え、研究の方法を解説することによって、学生がこれらの知識と方法を体系的に習得することを目的とする。演習は、学生が実際に研究を行い、講義で身につけた知識と方法を実際に研究に適用できることを目的とする。

講義は、経営学・会計学の専門的基礎知識を提供する「第1群科目」、研究方法の基礎的知識を提供する「第2群科目」、各分野の発展的な内容を提供する「第3群科目」の3つの群を基本として、指導教員の指導のもとで適切な科目を選択して、学習する。

演習は、指導教員の指導のもとで行われ、実際に研究を行い、修士論文の執筆を目標とする。修士論文については、指導教員以外に2名以上の審査員が論文を評価する。修士論文は、基本的なリサーチ能力の育成を目的とし、あわせて新しい経営学的知見の提供を目指す。

#### 2-2 学位：修士（商学）CP

カリキュラムは、講義と演習から構成される。講義は、研究に必要な知識を与え、研究の方法を解説することによって、学生がこれらの知識と方法を体系的に習得することを目的とする。演習は、学生が実際に研究を行い、講義で身につけた知識と方法を実際に研究に適用できることを目的とする。

講義は、商学の専門的基礎知識を提供する「第1群科目」、研究方法の基礎的知識を提供する「第2群科目」、各分野の発展的な内容を提供する「第3群科目」の3つの群を基本として、指導教員の指導のもとで適切な科目を選択して、学習する。

演習は、指導教員の指導のもとで行われ、実際に研究を行い、修士論文の執筆を目標とする。修士論文については、指導教員以外に2名以上の審査員が論文を評価する。修士論文は、基本的なリサーチ能力の育成を目的とし、あわせて新しい経営学的知見の提供を目指す。

#### 3-1 学位：博士（経営学）CP

カリキュラムは、指導教員が指導する演習と、主要分野の経営学研究科教員が指導するセミナーとワークショップから構成される。

演習は、指導教員の指導のもとで行われ、博士論文執筆を目標とする。博士論文執筆にあたっては、論文指導委員会を編成し、指導教員以外の教員からの指導も受ける。

博士論文は、経営学・会計学に関連する学問分野の高度かつ先端的な専門知識に基づく独創的研究であることを目指す。

セミナーとワークショップは、博士論文の前提として、論文の作成方法について、実際に学生が執筆した論文をもとに、経営学研究科の各分野の専門教員が多様な視点から指導を行い、専門的知識の活用及び方法論の適用に関する高度かつ先端的なアドバイスを提供する。

博士論文取得までの指導プロセスは、指導教員による個別指導に加え、博士論文提出要件となる第二論文の提出・審査後、論文指導委員会の編成による集団指導体制、2年次以降の第二論文ワークショップにおける公開の論文報告会、博士論文の審査に先立つ、博士論文発表会の開催から成り立ち、これら段階的な指導方法と体制により、博士論文作成に必要な能力を体系的に育成する。

### 3-2 学位：博士（商学）CP

カリキュラムは、指導教員が指導する演習と、主要分野の経営学研究科教員が指導するセミナーとワークショップから構成される。

演習は、指導教員の指導のもとで行われ、博士論文執筆を目標とする。博士論文執筆にあたっては、論文指導委員会を編成し、指導教員以外の教員からの指導も受ける。

博士論文は、商学に関連する学問分野の高度かつ先端的な専門知識に基づく独創的研究であることを目指す。

セミナーとワークショップは、博士論文の前提として、論文の作成方法について、実際に学生が執筆した論文をもとに、経営学研究科の各分野の専門教員が多様な視点から指導を行い、専門的知識の活用及び方法論の適用に関する高度かつ先端的なアドバイスを提供する。

博士論文取得までの指導プロセスは、指導教員による個別指導に加え、博士論文提出要件となる第二論文の提出・審査後、論文指導委員会の編成による集団指導体制、2年次以降の第二論文ワークショップにおける公開の論文報告会、博士論文の審査に先立つ、博士論文発表会の開催から成り立ち、これら段階的な指導方法と体制により、博士論文作成に必要な能力を体系的に育成する。

### 3) 専門職学位課程のカリキュラム・ポリシー（CP）

専門職学位課程（MBAプログラム）の教育目的は「日本のビジネス社会の中核になる人材の育成」であり、具体的には、（1）経営学全般についての高度な専門知識をもち、（2）経営学のある特定分野についての深い専門知識をもち、（3）長期的なグローバルな視点から具体的な経営上の問題を捉えることができ、（4）創造的な解決策を自ら提示し、適切な判断を下すことができる人材を育成することと規定される。その達成のために、「研究に基礎を置く教育（Research-based Education）」と「働きながら学ぶ」（By-the-Job

Learning) ことをカリキュラム・ポリシーの柱として、「プロジェクト方式」と「講義科目」により体系的な教育プログラムを編成する。

「プロジェクト方式」は、各人が仕事で直面している問題を持ちより、よく似た問題に直面している人々と共同して、深く調査・分析し、解決策を探るビジネス教育であり、ケースプロジェクト研究とテーマプロジェクト研究の二つで構成される。現代経営学演習（ゼミ指導）では、プロジェクト方式による研究成果を取り入れて専門職学位論文を完成させる。「講義科目」は、理論的教育を重視した基礎科目から、経営学の諸分野の専門知識をベースにした応用科目、さらに社会連携講座による実務的科目へと段階的に履修することが可能な第8群科目によって編成される。またグローバルな視点から経営上の問題を把握できる能力を磨くことを動機づけるために海外の有力MBA校との交換研修制度（Reciprocal Study Tour）を設ける。

なお、企業経営は環境の変化とともに刻々と進化する。したがってカリキュラムは、アドバイザー・ボード、MBAフェロー、在学生等からシステムティックに情報収集を行い、常に見直しを図る。

# カリキュラムマップ

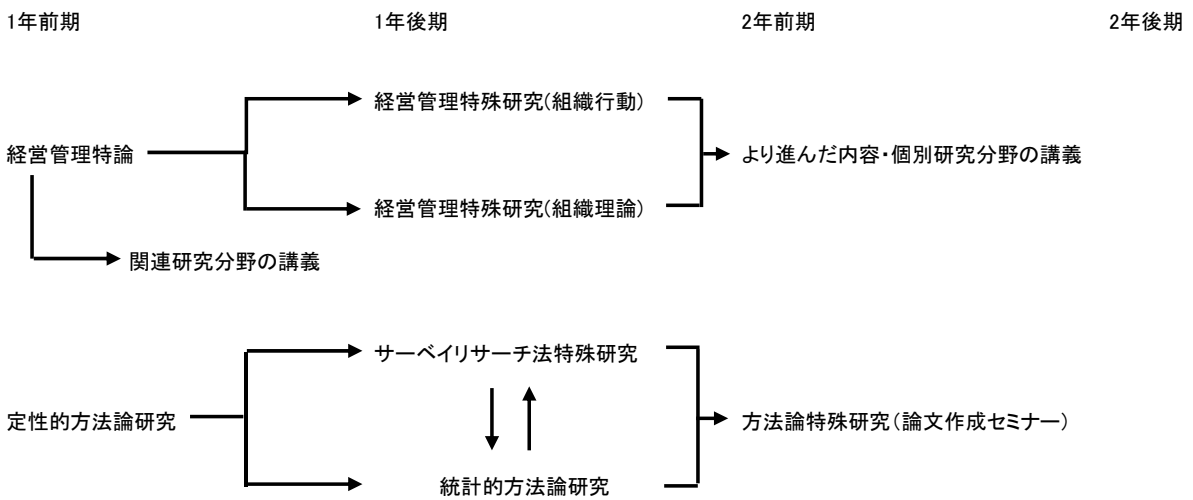
## 博士前期課程カリキュラムマップ

博士課程ディプロマ・ポリシーに基づき、以下のように体系的なカリキュラムを編成する。育成する研究者の分野を大まかに10分野想定し、各分野の基礎的知識を教える科目群、研究方法の基礎的知識を教える科目群、補助的あるいは発展的な科目群を段階的に各分野においてどのように学ぶべきか、標準的履修例をフローチャートで図示する。

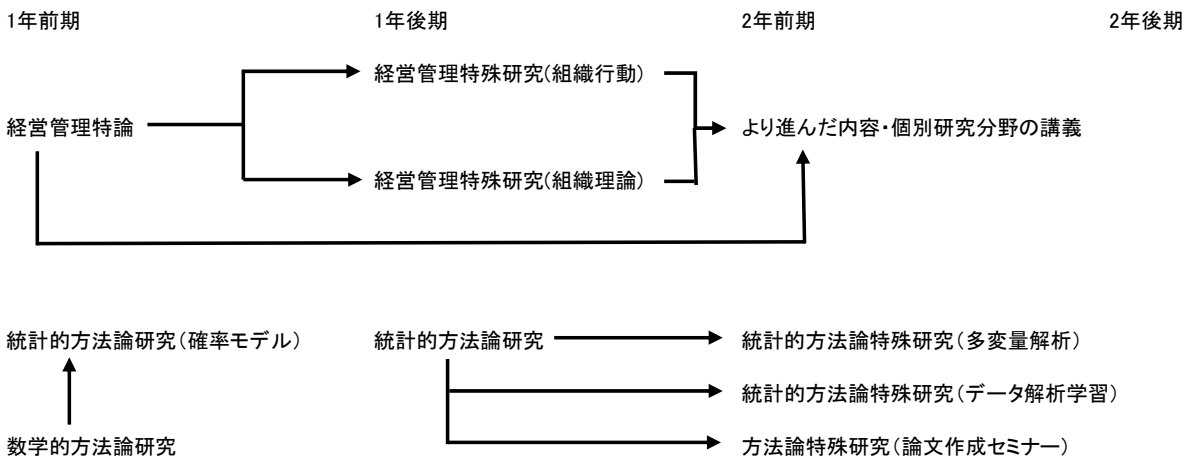
### 1. 修士号・博士号（経営学）を取得する場合

#### 1-1. 経営管理分野の基礎的科目の体系

##### 経営管理分野の標準的履修例（その1）



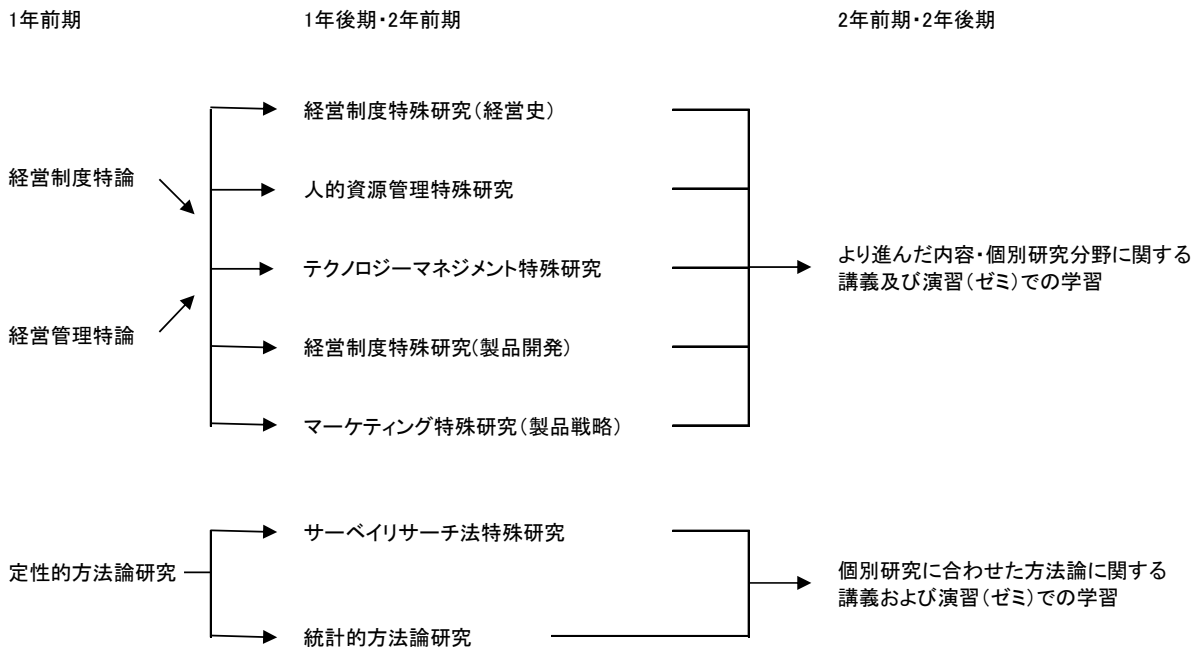
##### 経営管理分野の標準的履修例（その2）



注: 多変量解析とデータ解析学習の講義は適宜開講する。

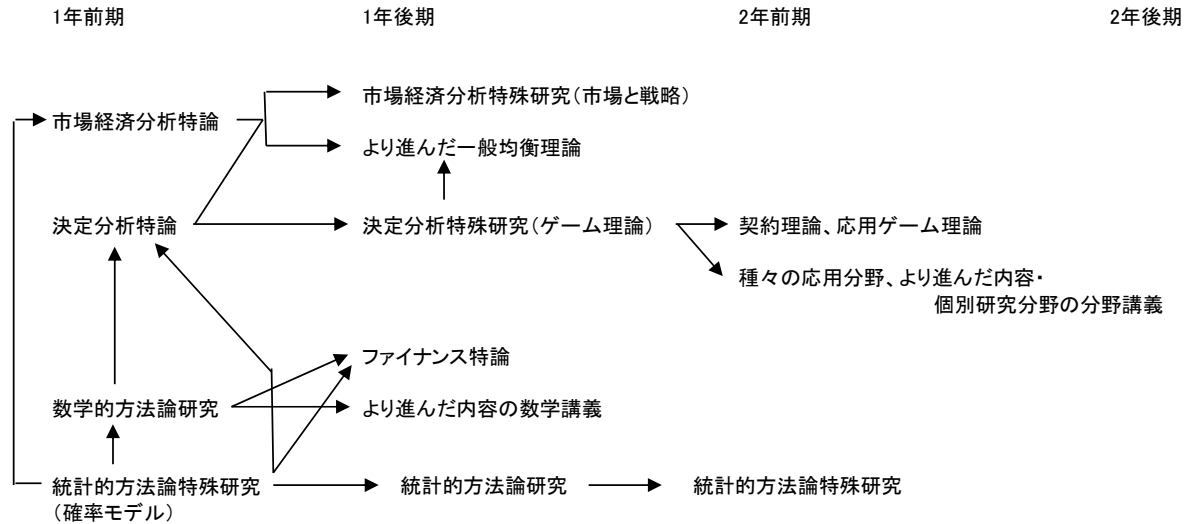
## 1-2. 経営制度分野の基礎的科目の体系

### 経営制度分野の標準的履修例



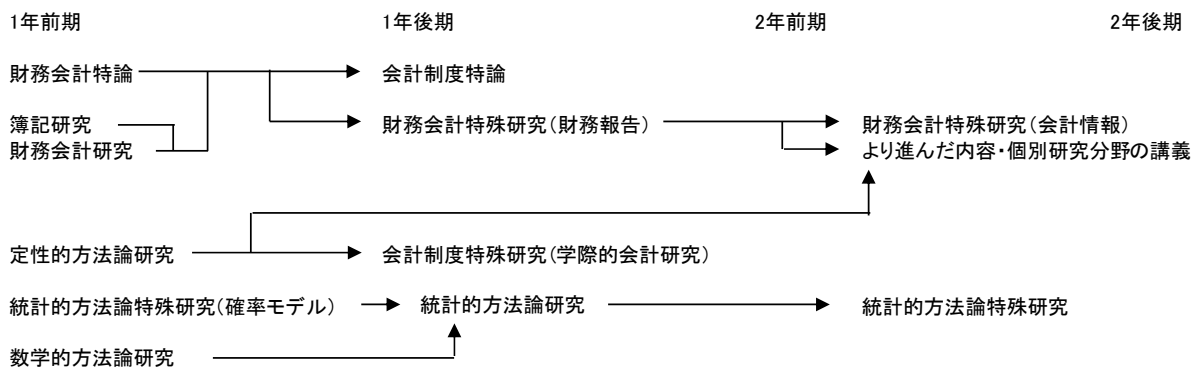
### 1-3. 決定分析分野の基礎的科目の体系

#### 決定分析分野の標準的履修例



### 1-4. 財務会計分野の基礎的科目の体系

#### 財務会計分野の標準的履修例

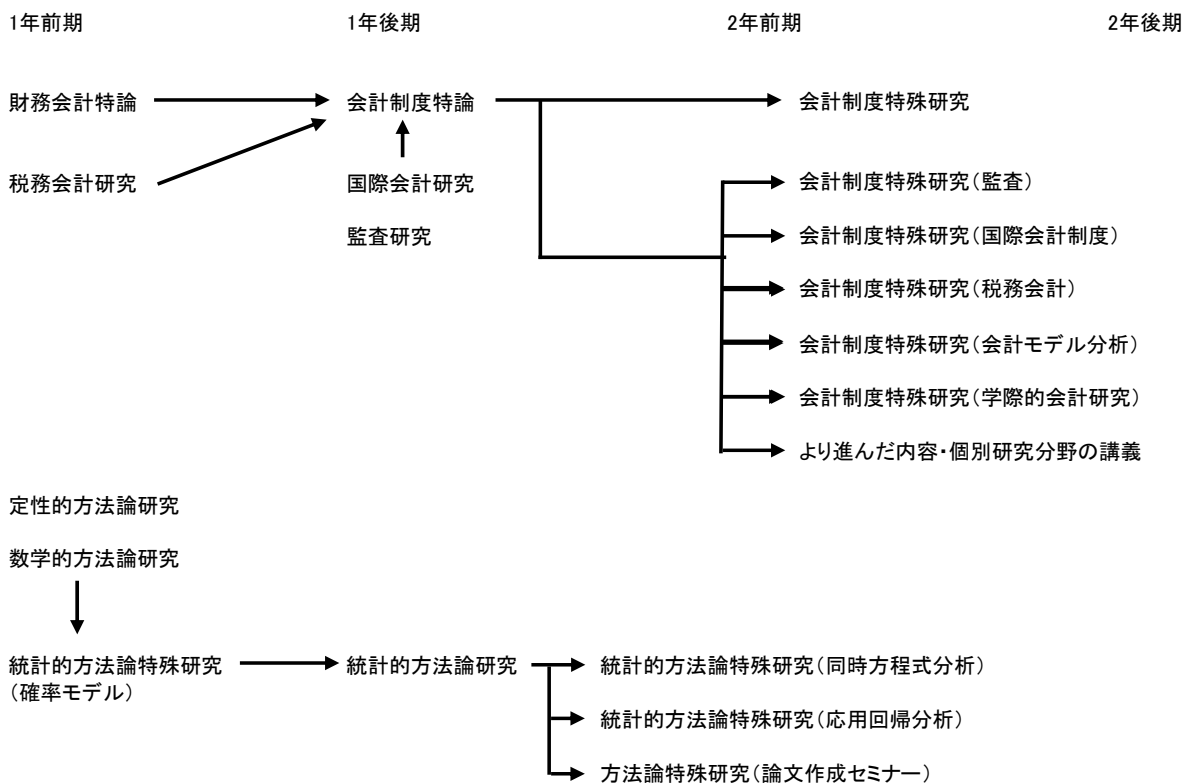


注: 第2群科目 (定性的方法論、統計的方法論、数学的方法論)は、指導教員と話し合って、各自の研究方向に合った方法論を選ぶこと。

統計的方法論特殊研究の開講時期と講義内容は年度ごとに変わるので、講義要綱で確認すること。

# 1-5. 会計制度分野の基礎的科目の体系

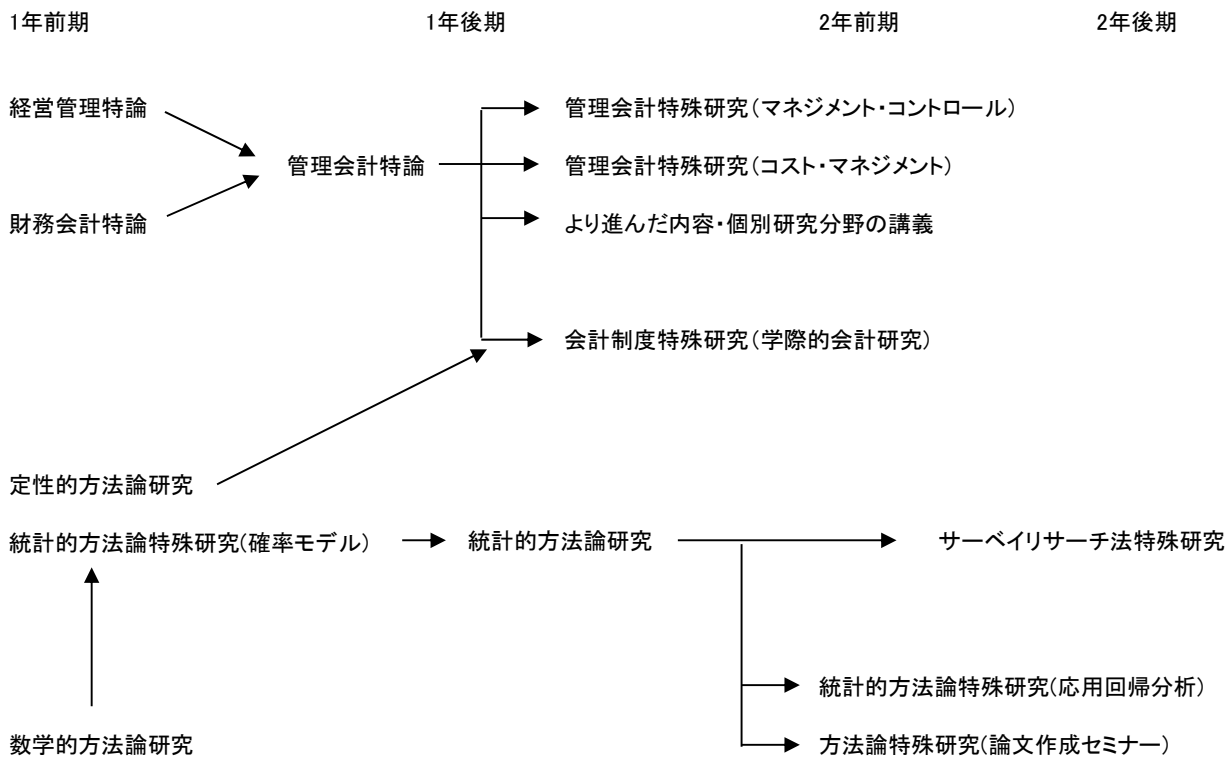
## 会計制度分野の標準的履修例



注:ただし、開講科目と講義内容は年度ごとに変わるので講義要綱で確認すること

1-6. 管理会計分野の基礎的科目の体系

管理会計分野の標準的履修例

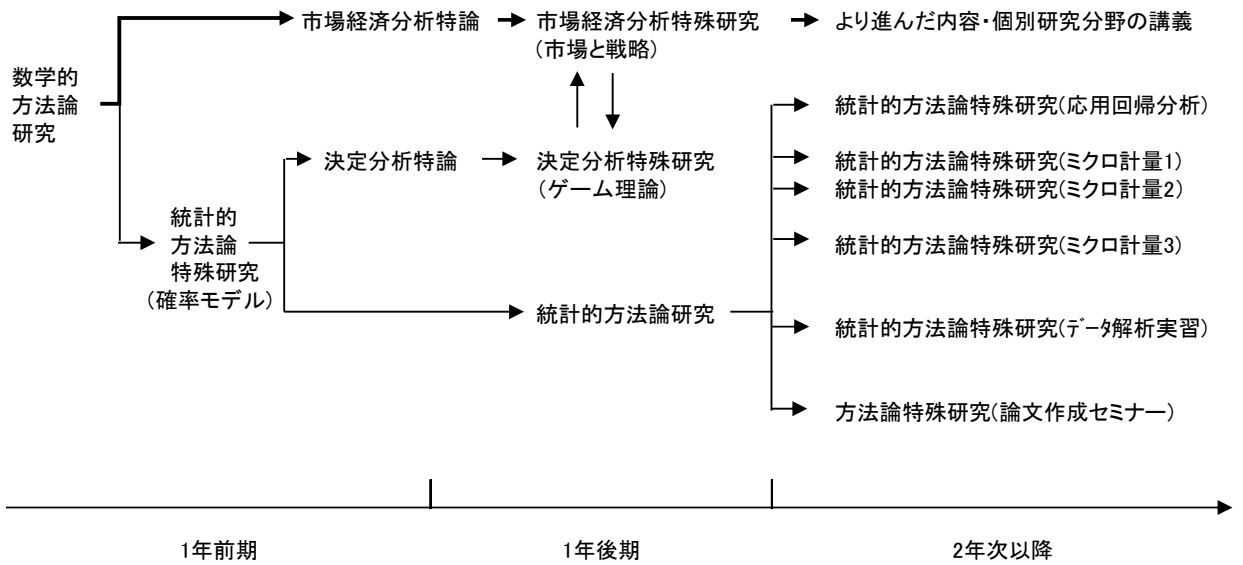






## 2-3. 市場経済分析分野の基礎的科目の体系

### 市場経済分析分野の標準的履修例

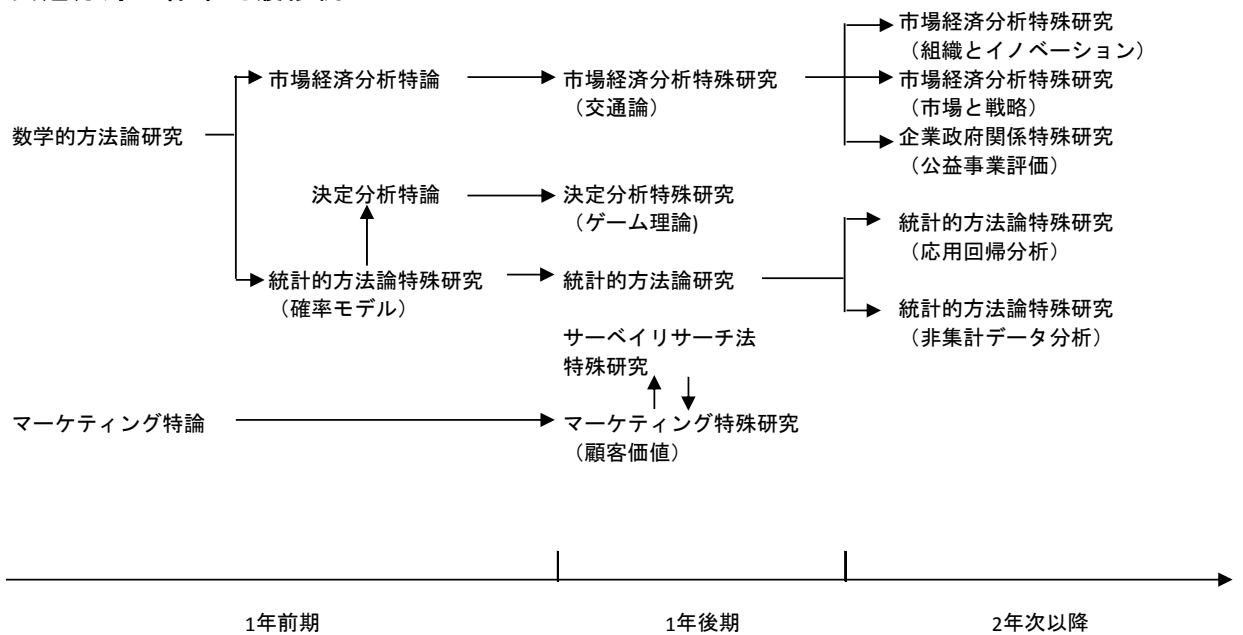


注：図において、太線はこの研究分野の中心的な科目の履修順序を示す。

なお、統計的方法(マイクロ計量)については、開講時期と講義内容が年度ごとに変わるので、講義要綱で確認すること。

## 2-4. 交通分野の基礎的科目の体系

### 交通分野の標準的履修例





## 専門職学位課程

DP 専門職学位課程「修了までに修得する能力」	学習教育目標	1 年次		2 年次	
		前期	後期	前期	後期
経営学全般についての高度な専門知識	長期的でグローバルな視点から、具体的な経営上の問題を捉えることができる創造的な解決策を自ら提示し、適切な判断を下すことができる	第 8 群 講義 科目	第 8 群 講義 科目	第 8 群講義科目 (前期のみで 修了可)	
経営学のある特定分野についての深い専門知識					
論理的思考能力と実践への適用能力		ケース プロ ジェ クト 研究	テー マ プロ ジェ クト 研究, 現 代 経 営 学 演 習	現代経営学演習 (前期のみで 修了可)	
国際社会に通用する思考力, 判断力, およびコミュニケーション能力					